

Sji

人とクルマのいい関係をめざして

2

2007 FEBRUARY

●編集室：〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1
本田技研工業株式会社
安全運転普及本部内
電話 03(5412)1736

●編集人：河野光彦

●年間購読料：1200円(定価1部100円・消費税込)

※郵便振替 口座番号：00170-7-173273

※加入者名：(株)アストクリエティブ
安全運転普及本部係

今月の スポット

交通事故や違反は自分の将来にも関わると言う、交通安全が一段と身近なものになります。

(特集より)

CONTENTS

- 特集：『Safety Action 21』を活用した高校の交通安全教育 …①
高校生の目線で、交通安全を自分の問題として考えてもらう
- TRAFFIC ADVICE ……④
●三重県立稲生高等学校・原付安全運転講習会/高校生とその保護者が協同で原付通学のためのヒヤリマップを作成
- SAFETY REPO ……④
●Honda Cars 男鹿/初心者のお客様に車庫入れのコツとバリアフリーの大切さを伝える
●活動短信/交通安全センター1月
- OPINION ……⑤
●渡辺和敏/シミュレーターを使って緊急走行の技術を伝える
- VOICE ……⑤
- DOCUMENT EYE ⑥
●日没後、自転車のライト点灯状況を観察する

特集：『Safety Action 21』を活用した高校の交通安全教育

高校生の目線で、交通安全を自分の問題として考えてもらう

2004年に(社)日本自動車工業会が高校教師用参考資料として開発した『Safety Action 21 高校生の交通安全教育』を活用して、交通安全の授業を進める高校が増えてきている。これらの高校では普通自動車免許を取得する前でも、自転車や二輪車などをテーマにした交通安全教育を行っている。実際に授業などで活用した先生方への取材を通して、『Safety Action 21』による交通安全教育の可能性を探る。



問題

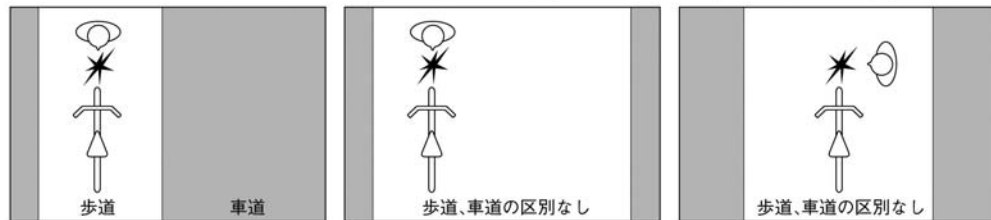
★実際に行ってみてください

ワークシート | 2-4

自転車は歩行者？ それとも車両？

問題 3 自転車が歩行者や他の自転車と接触したりして相手にケガをさせ、加害者になるケースが増えています。次のようなケースでは、自転車の基本的な過失割合は何%になると思いますか。

- ①歩道(自転車通行可)を走行中に歩行者に衝突
②歩道と車道の区別のない道で、歩行者に正面から衝突(自転車は左側を走行中)
③歩道と車道の区別のない道を、横断中の歩行者と衝突(自転車は左側を走行中)



自転車	%	歩行者	%	自転車	%	歩行者	%	自転車	%	歩行者	%

問題 4 自転車で加害事故を起こして、高額な損害賠償額の支払いが求められた事例があります。次のケースは実際に起きた事故例です。自転車乗用者にどれだけの損害賠償額の支払いが命じられたでしょう。

ケース1 歩道と車道の区別のない道で
雨の降る夜、傘を斜めにさし、無灯火で自転車に乗っていたAは、傘をさして歩いていた高齢者(女性)と衝突し、高齢者は転んでケガをした。

1.約10万円
2.約100万円
3.約200万円

ケース2 歩道で
通行する人が多い地下鉄の駅付近の歩道で、主婦(61歳)と歩道を走ってきた自転車(17歳の男子)がすれ違ったとき、自転車のハンドルが主婦のショルダーバッグの肩ひもにひっかかり、主婦は転倒してケガをした(大腿骨骨折の重傷)。

1.約1,000万円
2.約1,700万円
3.約3,000万円

解答と解説

問題 3

- [解答] ① 自転車100% 歩行者0%
② 自転車90% 歩行者10%
③ 自転車75% 歩行者25%

[解説] 自転車が事故で加害者(第1当事者)になりうることを理解させる問題。

※数字は「民事交通事故訴訟 損害賠償額算定基準 2003年版」東京三弁護士会 交通事故処理委員会、(財)日弁連交通事故相談センター東京支部による

問題 4

ケース 1

[解答] 3 (自転車の過失割合90%)

[解説] 自転車側は、無灯火、傘さし運転(片手運転)という過失があった。歩行者も傘をさして、通行車両を確認すべきであったという理由で、10%の過失を認めた。

ケース 2

[解答] 2 (自転車の過失割合100%)

[解説] 混雑した道だったので、自転車乗用車は歩行者の持ち物などとの接触で歩行者を転倒させてケガをさせることが予測できた。自転車乗用車は、運転に注意を払い、自転車を降りて手押することも必要だったというのが理由。

※数字は交通事故民事判例集、自動車保険ジャーナルによる

生徒と先生がコミュニケーションをとりながら、一緒に考える

『Safety Action 21』で取り上げている21項目の学年別構成

カテゴリー	高校1年	高校2年	高校3年生
交通社会人として— 法律の知識や社会的責任	1. 交通社会人としての自覚はできている? (交通社会人として発生する責任)	9. 違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える (とくに加害者としての責任)	15. 四輪車の免許を持つことは、プラス、マイナスの両面がある (四輪ドライバーとしての自覚)
	2. 自転車は歩行者? それとも車両? (自転車は車両という自覚)		16. エコロジーと車の運転
交通社会人として— 共生の大切さ	3. 路上ではみんなパートナー (交通弱者との共存)	10. 高齢者といよパートナーシップ (歩行者、自転車・二輪車利用者としての高校生と高齢歩行者のよい関係づくり)	17. 路上でよいコミュニケーションをとれることが、よいドライバーの大事な条件 (四輪ドライバーとして他者との情報の取り方、出し方の大切さなど)
	事故防止のための 実際的な知識	4. 一時停止標識があるところでは自転車も停まらないといけない? (自転車の出会い頭事故防止の仕方)	
5. 二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事 (四輪車との事故防止の仕方)		11. 上手に運転しているのに、危険な運転といわれる。どうして? (運転プロセスの理解)	
6. 車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある (高校生に多い四輪車同乗中の事故防止の仕方)			
			18. 運転はいろいろなものに影響される (心的要因と運転の関係)
危険予測訓練			19. 友達を車に乗せるということは、友達の命を預かるということ (高校生に多い四輪車同乗中の事故防止を運転者の立場で)
			20. 車の速度と自己過信 (四輪車の重大事故を速度との関係で)
			21. この画面の中にどんな危険がありますか? (四輪車運転中)
事故が起きたときの対応	7. この画面の中にどんな危険がありますか? (自転車乗用中)	12. この画面の中にどんな危険がありますか? (原付運転中)	
地域社会への貢献	8. 事故にあったらどうする? 事故を見たらどうする?	13. 事故現場であなたができること	
		14. 通学路の危険箇所マップづくり	

『Safety Action 21』の特徴

『Safety Action 21』は高校で交通安全を指導される先生方のために企画され、随時生じる交通安全の問題や課題だけでなく計画的な指導にも活用できるように作成された高校教師用参考資料である。その特徴は次の4つ。

- ① **交通事故の現実に向き合う**
高校生年代の交通事故の現実と向き合っ具体的、本質的な授業を進めることができる。
- ② **自分で考え、実行できるようにする**
交通安全を、高校生が自分の頭で考え、実行できるようにすることを教育効果として期待している。
- ③ **生徒が参加する授業**
ワークシートを核にして、生徒と先生がコミュニケーションをとりながら、一緒に考えるという手法を採用している。

④ **交通安全教育をすぐに始められる**
交通について、一般的な知識のある先生(日常的に運転しているなど)なら、誰でも、すぐに交通安全教育を始められるようにすることを目標に作成されている。

『Safety Action 21』は1学年6〜7時限の授業展開を想定し、高校1〜3年の3学年で21項目(表参照)の学習ができるように構成されている。先生方のニーズに合わせて、学年に関係なく、必要項目だけを使うことも可能である。交通安全に関心をもち、身近な問題として考えさせるには、どのように教えればいいのか。そうした指導現場の課題にこたえる格好のテキストとして『Safety Action 21』は活用されている。

活用事例 1

●千葉県立君津青葉高等学校(千葉県君津市)

総合的な学習の時間に活用

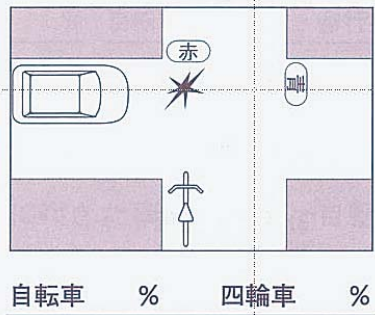
路上ではみんなパートナー

問題 2 次の写真を見て、白い杖をついた人が何に困っているのか、自分たちにできることは何かを考えてみましょう。



2. 信号機のある交差点で自転車と四輪車が衝突しました

②自転車側が赤信号で、四輪車側が青信号だったら



小泉教諭はプレゼンテーション用ソフトで『Safety Action 21』の内容を編集し、それをプロジェクターに映し、授業を展開

君津青葉高校は、原付での通学を認めていることもあり(今年2月現在の原付通学許可者は36名)、交通安全教育に力を注いでいる。毎年4月にはロングホームルームで校内一斉交通安全教室を行い、1年生は自転車、2年生は交通安全全般、3年生は四輪車に関わる内容を指導する。5月と夏休み明けには、君津警察署や上総自動車教習所の協力のもとに、原付通学者を対象にした交通安全教室を開催している。

そして、平成17年度までは2年生の総合的な学習の時間における選択科目の1つとして交通安全の授業を行っていた。この授業で『Safety Action 21』を活用したのが、同高校生指導部交通安全係の小泉博教諭だ。「この授業は2年生の原付通学者は必須で、ほかに希望者が選択できます。平成17年度の授業では、原付通学者以外の生徒も含めて47名の希望があり、多人数のため視聴覚室で授業を行っていました。教材として使用した『Safety Action 21』は交通安全に関して幅広く体系的に、高校生に必要なことがカバーされています。授業時間の50分の中で、どのように展開していけばいいのかもわかる内容です」。

また、ワークシートに図、写真などが多く使われていることも、生徒の興味を引きつけ、問題をわかりやすく伝える上で効果的だという。小泉教諭は各ページをスクリーンで取り込み、プレゼンテーション用のソフトを使って指導できるように工夫している。「図や写真などをプロジェクターに映し出すことによって、視覚で訴えることができました。多人数の授業は生徒の注意が散漫になりがちですが、生徒を飽きさせず授業を進められました。『Safety Action 21』を使用する前は、教習所の学科教習で使われる教本を使い、交通法規などを中心に教えていました。高校生に適したテキストがなく、困っていた時に『Safety Action 21』を読んで、「まさにこれだ」と思い、以降これを交通安全の指導資料として使うようになりました」。

小泉教諭は『Safety Action 21』が高校生の目線に編集されている点を評価する。「私が指導した中で、生徒が最も興味を示したのは賠償について。自転車が歩行者と接触し、相手にケガをさせて加害者となった場合、損害賠償が発生するという説明をすると、生徒たちは驚きます。「こんな事故があります」と言うだけでしたら、生徒の心に響かないまま終わっていたかもしれない。『Safety Action 21』では、『もし自分が事故を起したら、高校生でもこれだけの責任が自分にかかってくる』という点まで学べます。だから、生徒は自分のこととしてとらえられたと思います。授業の後、『自転車保険に加入したいけれど、どうすればいいか』といった相談も受けたほどです。これまでの授業ではあまりなかったことです」。

平成18年度は総合的な学習の時間に交通安全の授業を設けられなかったが、4月の校内一斉交通安全教室で全クラス統一指導する際に、『Safety Action 21』が資料として使われている。「指導したい項目を選んで、各クラス担任に該当するページをコピーして配布しています。解説がわかりやすく丁寧なので、交通関係について詳しくない先生でも資料を読めば指導が可能です。実際の教育現場では、交通安全教育が必要なのはわかっていますが、何をどのように指導していいのかわからず、多くの教員が困っているはず。『Safety Action 21』は、交通安全教育についての専門的な知識、スキルがなくても、その内容を理解すれば、無理なく、負担なく指導できます。もっと多くの教員に知ってもらい、活用してほしいと思います」。



小泉教諭

特集:『Safety Action 21』を活用した高校の交通安全教育

活用事例 2

●神奈川県立栗原高等学校(神奈川県座間市)

ヤングライダースクールの講義テキストに

なめてませんか? 事故&違反

人命事故や重傷の交通事故は、罰が言い渡されて済むまでには、被害者の苦痛や遺族の悲しさを記録しなければなりません。記録しにくい場合は検定資料とさせていただきます!

Table with 3 columns: 1. 「罰金以上の刑」によって免許を奪われることのある違反, 2. 「罰金以上の刑」によって免許を奪われることのある違反, 3. 「罰金以上の刑」によって免許を奪われることのある違反

交通安全の講義に『Safety Action 21』を参考資料として活用するようになったのは、平成17年7月のスクールからという。「交通安全教育の研修集会で初めて見た時、たまたま危険予測のページが目に入って、これは使えると思いました。」

栗原高校が、原付免許取得者を対象に実技講習を含む交通安全教育、ヤングライダースクールの開始したのは昭和63年。同校は乗せて教えることで事故を防ぎ、交通安全意識を高めようという、今日の参加体験型教育の先鞭をつける活動に取り組み、今日に至っている。

ヤングライダースクール(以下、スクール)は夏休み前の7月、冬休み前の12月、春休み前の3月の年3回、免許取得者を対象に校内で実施している。7月と12月は、交通安全の講義と実車(原付)による実技、3月が救急法の講義と実習という内容で、毎回15名から20名くらいが受講する。スクールは午前中の3時限を使う。1時限が講義で、2・3時限を実技にあてている。実技は神奈川県警察本部交通機動隊と女性白バイ隊のホワイトエンジェルズが指導にあたる。そして、交通安全の講義を担当しているのが同高校の森井昌邦教諭だ。



ヤングライダースクールの講義風景

『Safety Action 21』P115「この画面の中にどんな危険がありますか? (原付運転中)」に掲載されている危険予測のワークシート

森井教諭は『Safety Action 21』P81に掲載されている「交通事故による刑事上の責任と職業」を元に資料を作成した

「職業によっては罰金以上の刑で就けない場合がある、例えば調理師と言うと生徒は『えっ』という顔をします。交通事故や違反は自分の将来にも関わるといって、交通安全が一段と身近なものになるのです。普段、積極的に質問しない生徒たちから、『スピード違反はどうなるの?』といった質問も出ます。」

さらに、危険予測を重点的に教える。「特に、見えていない所に潜む危険、自分自身の次の行動に潜む危険、人の落ち込みやすい交通心理、ということを考えさせるようにしています。例えば、ワークシートのバイクが左カーブを曲がる場面。路面に砂利があるかもしれない、カーブの先にクルマが停まっているかもしれないといった、危険を考えさせる。また、自分がバイクで対向車線を行って来たとして、そういうバイクが対向車線から来たらどうなるか。相手はこちらが予想した行動をとらないこともある。また、前を走る友達のバイクが遅れまいとして安全確認を怠る。前が行ったので安全だと思い、自分で考えずについていってしまうという心理状態は高校生にはよくあるはずだ。日々の運転を振り返ってほしい、そうした状況での危険を考えさせるために危険予測のワークシートを使います。」

また同校では、3年の総合的な学習の時間でも交通安全の授業を行っている。昨年のこの授業では交通安全意識を取り上げた。「自転車も車両であり、守らなくてはいけない標識があるということ、Safety Action 21」の「一時停止標識があるところでは自転車も停まらないといけない?」を参考にしました。当校は生徒の7割が自転車通学をしていいますが、自転車も車両の1つということを知らず、標識を意識していない生徒がほとんどです。景色の一部としてしか標識を見ていない。日常生活のなかからその場所が潜む危険を考えさせていきたいと思っています」と森井教諭は言う。

の興味をひくように、導入部分を「なめてませんか? 事故&違反」とアレンジしている。

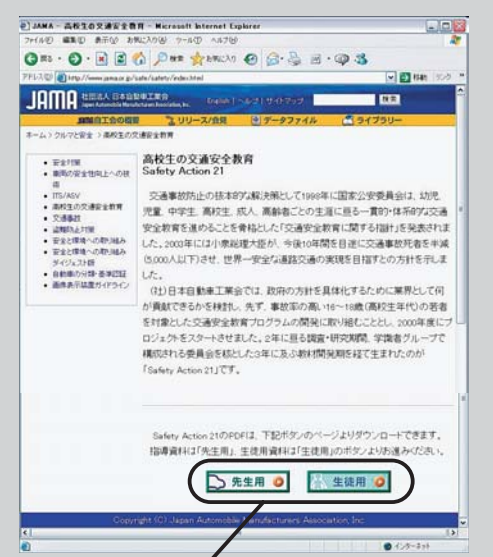


森井教諭

『Safety Action 21』は(社)日本自動車工業会のホームページからダウンロード可能

『Safety Action 21』の指導資料および生徒用資料は(社)日本自動車工業会のホームページからPDFファイルをダウンロードすることができます。必要な箇所だけを選んで、ダウンロードすることも可能です。

(社)日本自動車工業会のホームページアドレス http://www.jama.or.jp/safe/safety/



こちらからダウンロード

『Safety Action 21』各項目の構成

Worksheet 2-1 titled '自転車は歩行者? それとも車両?' with a table for student participation and a 'Teacher's Reference' section containing statistics and explanations about bicycles as vehicles.

Table detailing the structure of 'Safety Action 21' items, including 'Bicycle is a pedestrian or vehicle?', 'Traffic signs', and 'Accident prevention', with columns for 'Reason for setting', 'Guidance', 'Preparation', 'Learning activities', 'Points for supervision', and 'Evaluation'.

生徒が積極的に授業に参加しやすいためのワークシート

各項目の最後には、「先生のための資料」として関連するデータなどをわかりやすく掲載

各項目のはじめには、題材の設定理由から、授業の前に準備するもの、指導上の留意点などがまとめられている